

平成 28 年度 横須賀市立小・中学校学習状況調査の結果の概要について

横須賀市教育委員会

平成 28 年 4 月 14 日（木）～22 日（金）に小学校 3，4，5 年生と中学校 1，2 年生を対象に「横須賀市立小・中学校学習状況調査」を実施しました。

横須賀市では、本調査について、限られた教科および学年での実施であることや、それぞれの問題が学習指導要領で定められている学習目標・内容の全てを網羅するものではないことから、調査結果が子どもの学力すべてを表すものではなく、学校の教育活動の一側面を示すものと考えています。しかし一側面ではあるものの、本調査結果を子どもたちの学習状況を把握するための資料の一つととらえ、今後の市の教育施策の充実や学校における子どもたちの個性や能力に応じた学習指導の改善のためにしっかりと役立てていきたいと考えています。

また、子どもたちに「確かな学力」を育むためには、学校だけでなく家庭や地域のご協力が必要であります。そのためにも、子どもたちの学力や学習状況の現状を理解していただくとともに、学校教育活動にも積極的なご支援をいただくため、本市の状況及び課題について公表することとしましたので、ご理解いただきますようお願いいたします。

1. 調査の概略

(1) 調査の目的

横須賀市立小・中学校学習状況調査を実施し、横須賀市の児童生徒の学習状況を把握・分析し、その調査結果を各学校の指導方法の工夫・改善及び児童生徒の学習に役立て、横須賀市として必要な施策の策定に資することを目的としています。

(2) 調査内容

小学校 3 年生：①国語（聞き取り 有） ②算数

※各教科小学校 2 年生までの履修内容を出題範囲としています。

小学校 4 年生：①国語（聞き取り 有） ②社会 ③算数 ④理科

※各教科小学校 3 年生までの履修内容を出題範囲としています。

小学校 5 年生：①国語（聞き取り 有） ②社会 ③算数 ④理科

※各教科小学校 4 年生までの履修内容を出題範囲としています。

中学校 1 年生：①国語（聞き取り 有） ②社会 ③数学 ④理科

※各教科小学校 6 年生までの履修内容を出題範囲としています。

中学校 2 年生：①国語（聞き取り 有） ②社会 ③数学 ④理科 ⑤外国語（リスニング 有）

※各教科中学校 1 年生までの履修内容を出題範囲としています。

(3) 公表について

・序列化や過度な競争につながらないようにするため、各学校の結果については、公表いたしません。



2. 横須賀市 小学校の教科別結果

横須賀市立小学校教科別平均正答率

小学校3年生

	国 語			算 数		
	教科全体	基礎	活用	教科全体	基礎	活用
横須賀市	66.8	71.3	48.5	65.9	69.1	44.9
目標値	73.4	77.8	56.0	71.3	73.8	55.0
調査全体	74.5	79.6	54.2	72.4	75.6	51.1

※目標値とは、学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したものです。出題形式や解答形式の持っている特性についても考慮し、事前にいくつかの学校で行ったプレテスト等での検証をふまえて設定されています。

※調査全体とは、同じ問題を受検した全国の児童全体です。

各学年・教科の全体的な傾向及び課題の見られる事項（小学校3年生）

国語の「話すこと・聞くこと」の領域はおおむね良好な結果でした。しかし、各教科の基礎では、調査全体の平均正答率を下回っています。基本的な学習内容を確実に定着させていく必要があります。

<課題が見られる事項>

- 国語：「経験・想像したことの中から書くことを決め、自分の考えを明確に書くこと」に関わる事項
：「漢字を正しく書くこと」に関わる事項
- 算数：「加法の結合法則を理解すること」に関わる事項
：「長さやかさの理解に関すること」に関わる事項
：「図形についての理解に関すること」に関わる事項

横須賀市立小学校教科別平均正答率

小学校4年生

	国 語			社 会		
	教科全体	基礎	活用	教科全体	基礎	活用
横須賀市	65.5	66.0	63.4	48.3	51.0	36.8
目標値	70.4	71.6	65.0	60.7	64.8	41.0
調査全体	73.1	74.1	68.9	60.3	63.4	45.7

	算 数			理 科		
	教科全体	基礎	活用	教科全体	基礎	活用
横須賀市	69.5	76.1	44.9	61.7	67.3	42.4
目標値	73.9	79.5	53.1	65.5	70.4	48.6
調査全体	75.9	81.8	53.6	65.6	71.4	45.5

※目標値とは、学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したものです。出題形式や解答形式の持っている特性についても考慮し、事前にいくつかの学校で行ったプレテスト等での検証をふまえて設定されています。

※調査全体とは、同じ問題を受検した全国の児童全体です。

各学年・教科の全体的な傾向及び課題の見られる事項（小学校4年生）

国語の話すこと・聞くことの問題、算数のはかりの目盛りの読み方や身近にあるものの重さを推察して、適切な単位を使う問題については、おおむね良好な結果でした。しかし、社会科については、調査全体の平均正答率を大きく下回っています。また、各教科の基礎でも、調査全体の平均正答率を下回っています。基本的な学習内容を確実に定着させていく必要があります。

<課題が見られる事項>

- 国語：「相手や目的に応じ、構成を意識して報告する文章を書くこと」に関わる事項
- 社会：「基礎的・基本的な知識の確実な習得に関すること」に関わる事項
- 算数：「数直線上に示された分数を読み取ること」に関わる事項
- 理科：「視点を明確にした観察を行うこと」に関わる事項

横須賀市立小学校教科別平均正答率

小学校5年生

	国 語			社 会		
	教科全体	基礎	活用	教科全体	基礎	活用
横須賀市	64.1	64.4	62.6	53.9	56.2	43.4
目標値	67.7	68.9	62.0	58.9	62.3	44.0
調査全体	71.4	71.9	68.7	59.0	61.2	49.5

	算 数			理 科		
	教科全体	基礎	活用	教科全体	基礎	活用
横須賀市	59.2	61.8	47.7	62.4	65.2	53.6
目標値	67.8	70.3	56.4	65.3	66.6	61.3
調査全体	68.3	71.0	56.1	68.4	70.1	63.0

※目標値とは、学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したものです。出題形式や解答形式の持っている特性についても考慮し、事前にいくつかの学校で行ったプレテスト等での検証をふまえて設定されています。

※調査全体とは、同じ問題を受検した全国の児童全体です。

各学年・教科の全体的な傾向及び課題の見られる事項（小学校5年生）

国語の「話すこと・聞くこと」の領域、算数の小数のしくみの理解や小数を用いて長さの単位換算をする問題については、おおむね良好な結果でした。しかし、各教科の基礎については、調査全体の平均正答率を下回っています。基本的な学習内容を確実に定着させる必要があります。

<課題が見られる事項>

- 国語：「相手や目的に応じ、取材したことをもとに構成を考えて文章を書くこと」に関わる事項
- 社会：「基礎的・基本的な知識の確実な習得に関すること」に関わる事項
- 算数：「計算の順序や分配法則についての理解に関すること」に関わる事項
- 理科：「既習事項や系統性を踏まえた学習活動を行うこと」に関わる事項

3. 横須賀市 中学校の教科別結果

横須賀市立中学校教科別平均正答率

中学校 1 年生

	国 語			社 会		
	教科全体	基礎	活用	教科全体	基礎	活用
横須賀市	61.8	63.5	55.7	47.7	49.4	39.5
目標値	63.0	65.4	54.3	55.2	57.4	44.0
調査全体	64.8	67.0	57.1	54.5	56.7	43.3

	数 学			理 科		
	教科全体	基礎	活用	教科全体	基礎	活用
横須賀市	65.4	67.0	59.1	58.2	59.7	53.0
目標値	71.2	73.3	63.1	62.6	64.6	56.3
調査全体	71.9	73.8	64.5	64.0	65.6	58.7

※目標値とは、学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合を示したものです。出題形式や解答形式の持っている特性についても考慮し、事前にいくつかの学校で行ったプレテスト等での検証をふまえて設定されています。

※調査全体とは、同じ問題を受検した全国の生徒全体です。

各学年・教科の全体的な傾向及び課題の見られる事項（中学校 1 年生）

国語の「話すこと・聞くこと」の領域、数学の円の面積を求めることや線対称・点対称に関する知識・理解等については、おおむね良好な結果と言えます。しかし、各教科の基礎では、調査全体の平均正答率を下回っています。基本的な学習内容を確実に定着させていく必要があります。

<課題が見られる事項>

- 国語：「目的や意図に応じ、構成を考えて的確に書くこと」に関わる事項
- 社会：「用語や事象についての知識・理解」、「資料の活用」に関わる事項
- 数学：「小数・分数に対する技能や知識・理解に関すること」、「数量関係」領域に関わる事項
- 理科：「科学的な手法により課題を解決すること」、「学習事項の定着を図ること」に関わる事項

横須賀市立中学校教科別平均正答率

中学校2年生

	国 語			社 会			数 学		
	教科全体	基礎	活用	教科全体	基礎	活用	教科全体	基礎	活用
横須賀市	70.5	72.8	62.2	52.2	53.0	48.4	58.1	58.2	57.6
目標値	68.3	71.0	58.6	55.8	56.4	53.0	60.0	60.5	57.5
調査全体	72.3	74.9	63.0	56.4	56.9	54.2	60.5	60.8	58.6

	理 科			外 国 語		
	教科全体	基礎	活用	教科全体	基礎	活用
横須賀市	45.8	48.0	38.6	65.5	69.9	54.5
目標値	55.7	58.5	46.9	63.0	68.6	49.0
調査全体	50.8	53.1	43.3	64.3	69.5	51.4

※調査全体とは、同じ問題を受
 検した全国の生徒全体です。

※目標値とは、学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合を示したものです。出題形式や解答形式の持っている特性についても考慮し、事前いくつかの学校で行ったプレテスト等での検証をふまえて設定されています。

各学年・教科の全体的な傾向及び課題の見られる事項（中学校2年生）

数学の「数と式」の領域や英語の「聞くこと」、「読むこと」の領域では、おおむね良好な結果でした。しかし、外国語を除く各教科の基礎では、調査全体の平均正答率を下回っており、課題が見られました。基本的な学習内容を確実に定着させていく必要があります。

<課題が見られる事項>

- 国語：「漢字を適切に書くこと」、「言葉のきまりについて理解したりすること」に関わる事項
- 社会：「基礎的・基本的な知識の確実な習得」、「資料の内容を正確に読み取ること」に関わる事項
- 数学：「数量の間の関係を不等式に表すこと」、「比例・反比例のグラフに関すること」に関わる事項
- 理科：「自然の事物・現象とグラフや図で表されたものと結び付けて捉えること」、「大地の成り立ちと変化」の知識・理解に係ることに関わる事項
- 英語：「語形や語法、語彙についての知識・理解」、「対話の内容を聞き取り、適切に応答すること」に関わる事項

4. 今後の取組について

各学校では、本学習状況調査の結果をもとに、成果と課題を分析し、課題の改善に向けた取組を行っています。教育委員会では、各学校の取組に指導助言を行い、子どもたちの学力向上に向けた支援をしています。

また、これまでの全国学力・学習状況調査や横須賀市の学習状況調査の結果の分析から、子どもたちの学力向上には、家庭学習の取組等、学習習慣の定着とともに、基本的な生活習慣や家族とのコミュニケーションも大きく影響があることがわかってきています。そのため、学校と家庭が連携して取り組んでいくことが必要と考えています。

本調査結果を踏まえて、家庭学習の取組等、学校と家庭が連携した具体的な取組につなげていきたいと思えます。

<学校での取組>

- ・各学校での本学習状況調査の結果の分析・検証
- ・学習状況調査分析結果について学力向上プランへの反映
- ・「確かな学力」を育成するための指導方法・指導体制の工夫
- ・放課後や長期休業中等を活用した補充学習等の設定
- ・家庭と連携した家庭学習の取組

<家庭での取組>

- ・学習習慣をはぐくむ学習環境づくり
- ・家庭学習啓発リーフレット等を活用した学習習慣の確立
- ・学校の取組と連携した取組（生活習慣の改善等）

<教育委員会の取組>

- ・本学習状況調査の結果等を踏まえた各学校への指導助言
- ・学力向上推進委員会との連携
- ・学力向上担当者会での結果の周知及び指導
- ・子どもの学力向上を支援する取組（学力向上サポートティーチャーの派遣等）
- ・学校と家庭の連携の推進
（家庭学習啓発リーフレットの配布等）

